

## 5月26日(水)の「スーパームーン皆既月食」の観望ガイド (なまえ )

月食というのは、「地球の影」を満月が通り、満月が少しずつ欠けて見える「天文現象」の一つです。正確には「地球の影が満月を追いこす」という現象です。太陽が新月にかくされる天文現象を「日食」といいますが、月食は日食よりも回数が少なく、数年に一度です。しかし、日食は地球上の非常に限られた地域でしか見られないのに対し、月食は世界の3分の1から半分ぐらいの地域で見られます。人が一生のうちに見られるチャンスは、日食よりも月食のほうが多いのはこのためです。今回の月食は、地球と月の距離が近い満月…「スーパームーンの月食」です。また今回は、東の空から昇って来る時にすでに欠けている「月出帯食」という珍しい月食です。



20:09から20:28までは、満月全体が地球の影に入る「皆既月食(かいきげっしょく)」が見られます。この時の月は「赤銅色(しゃくどういろ)」という美しい色です。この日は、月食中の月のすぐ下に、さそり座の赤い一等星「アンタレス」も見えます。

もう一つ「おすすめ」なのは、月食の終わりに見られる、「食べかけおまんじゅう型の月食」で、今回は21:40頃見られます。こんな写真を撮れたら、おもしろいですね!!夜遅くまでの観察になるので、家の人といっしょに、安全に見ましょう。

←「月食とおまんじゅう」2014年10月8日撮影